

(仮称)ピバモールー宮

大規模小売店舗立地法指針項目チェックリスト

1 概要

一宮市羽衣二丁目5番2号にホームセンターを新設する。(法第5条第1項)

2 届出の内容

届出年月日	令和3年6月18日		
店舗	店舗名称	(仮称)ピバモールー宮	
	店舗所在地	愛知県一宮市羽衣二丁目5番2号	
設置者	名称	株式会社ピバホーム	
	代表者	代表取締役 坂本 晴彦	
	住所	埼玉県さいたま市浦和区上木崎一丁目13番1号	
	その他	なし	
小売業者	名称	株式会社ピバホーム	
	代表者	代表取締役 坂本 晴彦	
	住所	埼玉県さいたま市浦和区上木崎一丁目13番1号	
	その他	未定	
店舗面積	26,192 m ²		
施設の配置	駐車場	位置	別紙図面のとおり
		台数	1183 台 (指針台数: 1756 台)
	駐輪場	位置	別紙図面のとおり
		台数	267 台
	荷捌施設	位置	別紙図面のとおり
		面積	520.4 m ²
	廃棄物 保管施設	位置	別紙図面のとおり
		容量	103.9 m ³
施設の運営	営業時間	開店	午前6時15分(一部午前9時)
		閉店	午後9時45分
	駐車場利用時間帯	午前6時～午後10時	
	駐車場出入口	数	6箇所
		位置	別紙図面のとおり
荷捌時間帯	午前6時から午後10時まで(一部午前6時から正午まで)		
新設する日	令和4年2月19日		

3 参考事項

敷地面積	47,867 m ²		
建築面積	37,788 m ²		
延床面積	48,499 m ²		
業態	住・生活関連品専門店		
用途地域	商業地域	—	—
備考			

(仮称)ビバモール一宮

4 基本的配慮事項

配慮事項	記述事項
(1) まちづくり計画の検討	周辺の街並みづくりと違和感の無い建物と致します。
(2) 深夜営業の対応	—
(3) 住民説明会の開催	大規模小売店舗立地法届出後2か月以内に開催致します。
(4) テナントの履行確保	テナントの履行確保に努めます。
(5) 責任者の任命	店長を責任者として任命致します。
(6) 予測乖離時の措置	関係行政機関と協議の上、指針に沿った合理的な措置を講じます。
(7) 通年の臨時措置	繁忙時には交通整理員を配置
(8) 開店時の臨時措置	混雑状況に応じて交通整理員を適宜配置致します。

5 施設の配置及び運営方法に関する事項

1 駐車需要の充足・周辺地域の利便確保のための配慮

(1) 交通に係る事項

ア 駐車場の必要台数の確保

(ア) 小売店舗の必要駐車台数

a 指針による算出

行政人口	店舗面積S	日來客数 原単位A (人/千㎡)	ピーク率B	駅からの距離 (商業系地域の 場合)	自動車分担率 C	平均乗車 人員D	ピーク1hの 来台車数F $S/1000 \times A \times B \times C/D$	平均駐車 時間係数G	必要駐車台数 F×G
383,582人	26,192 ㎡	950	14.40%	1,100 m	70.00%	2.50人	1,003台	1.75	1,756台

総駐車台数	—	従業員等駐車台数	—	業務用駐車台数	—	搬出入用駐車台数	—	併設施設駐車台数	—	=	来客用駐車台数	評価
1,237台	—	54台	—	0台	—	0台	—	0台	—	=	1,183台	△

b 指針によらない「特別な事情」による算出

(a) ホームセンター部分

行政人口	店舗面積S	日來客数 原単位A (人/千㎡)	ピーク率B	駅からの距離 (商業系地域の 場合)	自動車分担率 C	平均乗車 人員D	ピーク1hの 来台車数F $S/1000 \times A \times B \times C/D$	平均駐車 時間係数G	必要駐車台数 F×G
383,582人	12,609 ㎡	493	14.40%	1,100 m	70.00%	2.50人	251台	1.09	273台

(b) その他物販

行政人口	店舗面積S	日來客数 原単位A (人/千㎡)	ピーク率B	駅からの距離 (商業系地域の 場合)	自動車分担率 C	平均乗車 人員D	ピーク1hの 来台車数F $S/1000 \times A \times B \times C/D$	平均駐車 時間係数G	必要駐車台数 F×G
383,582人	13,583 ㎡	950	14.40%	1,100 m	70.00%	2.50人	520台	1.75	910台

総駐車台数	—	従業員等駐車台数	—	業務用駐車台数	—	搬出入用駐車台数	—	併設施設駐車台数	—	=	来客用駐車台数	評価
1,237台	—	54台	—	0台	—	0台	—	0台	—	=	1,183台	○

イ 駐車場の位置及び構造等

1平面自走オペレーター:無	2平面自走オペレーター:有	3機械式駐車場	共用駐車台数	ピーク1hの来台車数
3箇所	0箇所	0箇所	0箇所	771台

ウ 駐車場形式・出入口数・位置・駐車待スペース・分散確保・交通整理

種別	1	収容台数 1,183台		歩行者動線 分離	騒音配慮	駐車場の平面化	排ガス配慮	アイドリングストップ						
		出入口数	道路種別					道路幅員	歩道	交差点距離	駐車待スペース	予測来台車数	道路形態	入庫方法
東	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
西	2箇所	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
南	2箇所	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
北	2箇所	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
交通整理員等の配置		年間を通して混雑する時期のみ配備												

評価	○	○	○	○	○
----	---	---	---	---	---

エ 周辺交通状況の把握

交通量調査	来客車両等の方向別予測	店舗周辺状況調査	交通流動の予測
実施	実施	実施	実施(交差点需要率等の検討)

(仮称)ビバモールー宮

(ア)交差点需要率等の検討

		休 日			平 日		
		現 況	開店後	評 価	現 況	開店後	評 価
交差点A 和光交差点	需要率	0.414	0.555	○	0.475	0.616	○
	将来交通量/可能交通容量	0.592	0.828	○	0.686	0.922	○
	ピーク時間帯	11時台			18時台		
交差点B	需要率	0.180	0.258	○	0.268	0.289	○
	将来交通量/可能交通容量	0.236	0.519	○	0.369	0.430	○
	ピーク時間帯	17時台			07時台		
交差点C 松降交差点	需要率	0.457	0.539	○	0.530	0.616	○
	将来交通量/可能交通容量	0.647	0.746	○	0.688	0.785	○
	ピーク時間帯	17時台			09時台		
交差点D 羽衣1丁目交 差点	需要率	0.427	0.649	○	0.480	0.671	○
	将来交通量/可能交通容量	0.470	0.724	○	0.560	0.708	○
	ピーク時間帯	11時台			08時台		
交差点E 富士2丁目交 差点	需要率	0.419	0.583	○	0.444	0.564	○
	将来交通量/可能交通容量	0.548	0.753	○	0.562	0.697	○
	ピーク時間帯	11時台			08時台		

オ 駐輪場等の確保等

駐輪場の位置及び箇所数	建物西、及び建物北西 計4箇所
駐輪場の収容台数	267台
標準収容台数	749台
収容台数根拠	類似店舗の実績による。

位置評価	台数評価
○	○

カ 自動二輪車の駐車場の確保

自動二輪車駐車場の確保	確保	収容台数	8台
位置及び箇所	建物北西側 1箇所		

位置評価	台数評価
○	○

キ 荷捌施設の整備等

(ア)荷捌施設の整備

停車位置	専用出入口・通路	面積	営業時間外の搬入	平均処理時間	同時処理可能台数	ピーク時車両数	処理能力
敷地内	混在	520.4㎡	なし	10分 20分	12台	14台	○

(イ)計画的な搬入

搬入ピーク	台数	道路混雑ピーク	道路余裕時間帯	施設運営計画の有無	荷捌待スペース	評価
6:00~7:00	14台	8:00~9:00	22:00~23:00	なし	有り	○

ク 経路の設定等

(ア)車両関係

a 来客車関係

案内表示の設置	交通整理員の配置	情報提供	生活道路の回避	通学路の回避	療養施設等の回避	右折経路
あり	配置	チラシ配布	回避	非回避	回避	あり

b 搬出入車両関係

通学路との交錯	登下校時間の運行	登下校時間の交通整理員
あり	あり	—

※非配備の場合等の対応

状況に応じて適宜配置

c バス・タクシー等交通機関関係

駐車場の確保
確保なし

d 地方公共団体・公共交通事業者の事業関係

パークアンドライド事業等への協力
事業なし

評価
○

(イ)歩行者通行関係

通り抜け可能通路の保持	通行妨害施設	閉店後の夜間照明の設置
必要なし	なし	必要なし

評価
○

(仮称)ビバモール一宮

(ウ) 廃棄物・リサイクル関係

廃棄物減量化計画	リサイクル活動推進計画
実施	実施

評価
○

(エ) 防災・防犯対策への協力

a 防災への協力

避難場所の提供	物資の緊急提供	その他
締結可能	締結可能	

b 防犯への協力

夜間照明の配置	警備員等の巡回	その他
-	あり	

評価
○

2 生活環境悪化防止関係

(1) 騒音発生に係る事項

ア 騒音問題対応策

(ア) 一般的対策

	住居(距離)	高層住居(距離)	騒音発生源	遮音壁(高さ)	緑地帯	その他の対策
東方向	なし	なし	来客車両	なし	なし	—
西方向	24 m	なし	来客車両	なし	なし	—
南方向	6 m	なし	来客車両	なし	なし	—
北方向	16 m	なし	来客車両	なし	なし	—

遮音壁の影響	設置なし
--------	------

(イ) 営業活動の騒音対策

早期・深夜荷捌きの有無	なし
荷捌施設建築計画面での配慮	十分な作業スペースを確保し、荷さばき作業時間の短縮を図ります。
荷捌作業運営面での配慮	搬入作業時及び作業町車両のアイドリング禁止を徹底します。
放送設備使用面での配慮	屋外放送なし

(ウ) 付帯設備及び付帯施設等における騒音対策

冷却塔、室外機等からの騒音配慮	低騒音型機器の導入
給排気口等からの騒音配慮	低騒音型機器の導入
駐車場からの騒音配慮	アイドリングストップの呼びかけ
廃棄物収集作業等に伴う騒音配慮	早期、深夜の作業回避
経年劣化等の事後対策	定期的なメンテナンスにより経年劣化を防ぎます

(エ) 併設施設における騒音対策

施設面の騒音配慮	該当なし
運営面の騒音配慮	該当なし

イ 騒音の予測評価

予測対象騒音	定常騒音	騒音源										
		空調機室外機	108	キュービクル	4	外調機	排気口	159	給気口	29		
変動騒音	冷凍機室外機	16										
	自動車走行	○	後進警報ブザー	○								
衝撃騒音	ゴミ収集作業	○										
	荷さばき作業	○	台車走行	○								
建物の構造(高さ)		鉄骨造3階建(20.015m)										

(仮称)ピバモール一宮

(ア)等価騒音レベル予測

		南(A)	南(B)	南(C)	西(D)
用途地域		商業地域	商業地域	商業地域	商業地域
昼間基準値		60 dB	60 dB	60 dB	60 dB
夜間基準値		50 dB	50 dB	50 dB	50 dB
設置者	昼間等価騒音レベル	55.2 dB	57.8 dB	55.6 dB	50.2 dB
	評価	○	○	○	○
県	夜間等価騒音レベル	23.6 dB	27.3 dB	37.3 dB	26.8 dB
	評価	○	○	○	○
昼間等価騒音レベル検証		妥当	妥当	妥当	妥当
夜間等価騒音レベル検証		妥当	妥当	妥当	妥当
		北(E)	北(F)		
用途地域		工業地域	工業地域		
昼間基準値		60 dB	60 dB		
夜間基準値		50 dB	50 dB		
設置者	昼間等価騒音レベル	53.1 dB	52.4 dB		
	評価	○	○		
県	夜間等価騒音レベル	23.7 dB	15.6 dB		
	評価	○	○		
昼間等価騒音レベル検証		妥当	妥当		
夜間等価騒音レベル検証		妥当	妥当		

※基準値を超えた場合の対応等

すべての予測地点において等価騒音レベルは環境基準を満たします。
 万が一、周辺の住居の方々より騒音に関するご意見を頂いた場合には、原因を明らかにし、当該店舗が起因している場合には、最大限対応致します。

(イ)夜間における騒音ごとの予測

A 商工系地域で周囲50m以内に学校、保育所、病院、患者収容施設を有する診療所、図書館、特別養護老人ホームの有無					無
B 工業地域で住居系地域との境界線を50m以内に有するか否か					
上記A・Bの具体的内容		—			
		南(P1)	南(P2)	北(P3)	
用途地域		商業地域	商業地域	商業地域	
基準値を5dB減ずる要因		なし	なし	なし	
基準値		50dB	50dB	50dB	
設置者	定常騒音の騒音レベル	35.7 dB	38.6 dB	24.4 dB	
	評価	○	○	○	
県	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値	—	—	—	
	評価	—	—	—	
定常騒音の騒音レベル検証		妥当	妥当	妥当	
変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値検証		—	—	—	

※基準値を超えた場合の対応等

すべての予測地点において騒音レベルの最大値は規制基準を満たします。
 万が一、周辺の住居の方々より騒音に関するご意見を頂いた場合には、原因を明らかにし、当該店舗が起因している場合には、最大限対応致します。

(2) 廃棄物関係

ア 廃棄物等の保管について

悪臭問題関係配慮	建物に内蔵し、密閉性を保ちます。
衛生問題関係配慮	廃棄物保管施設は定期的に清掃します。

(仮称)ピバモール一宮

(ア)小売店舗の必要保管容量

a 指針に分類される廃棄物等

取扱品目	届出容量	保管日数	日排出量	見かけ比重	必要保管容量	見かけ比重の変更	評価
紙廃棄物用	103.90 m ³	1日	1.470 t	0.10 t/m ³	14.70 m ³	変更なし	○
金属製廃棄物用		1日	0.103 t	0.10 t/m ³	1.03 m ³	変更なし	○
ガラス製廃棄物用		1日	0.076 t	0.10 t/m ³	0.76 m ³	変更なし	○
プラスチック製廃棄物用		1日	0.181 t	0.01 t/m ³	18.10 m ³	変更なし	○
生ごみ用		1日	1.418 t	0.55 t/m ³	2.58 m ³	変更なし	○
その他可燃性廃棄物用		1日	1.414 t	0.38 t/m ³	3.72 m ³	変更なし	○
合計	103.90 m ³	-	-	-	40.89 m ³	-	○
保管日数の設定根拠	他店舗での実績に基づく						
見かけ比重変更の理由	変更なし						
指針と異なる算定式の使用	変更なし						

b その他の廃棄物等

該当なし

(イ)小売店舗以外の施設の必要保管容量

a 飲食店の廃棄物等

小売店舗と共用いたします。

b 小売店舗以外の施設の廃棄物等(廃棄物等の保管場所が小売店舗と同一の場合)

小売店舗と共用いたします。

(ウ)小売店舗から排出される廃棄物の増減要因

廃棄物排出量を減少させる要因		廃棄物排出量を増加させる要因	
レジ袋削減の実施	あり	空缶・空き瓶の回収箱設置	なし
ダンボール不使用納品の実施	なし	食品トレーの回収箱設置	なし
生ゴミ堆肥化施設の使用	なし	ペットボトルの回収箱設置	なし
廃棄物等圧縮機の使用	なし	食品加工場の設置	なし
脱水装置の使用	なし	物販店以外の施設との保管施設の共有	なし
その他	なし	その他	なし

※その他廃棄物減量化及びリサイクル等に係る取組み

店舗内で発生する廃棄物を分別収集いたします。

(エ)廃棄物保管施設の位置・構造

位置・構造	種類・処理方法ごとの分別の実施	分別廃棄を実施
	搬出作業の利便性の確保	特になし
	搬出作業の騒音・悪臭対策の確保	極力段差のない構造とする。
	生ゴミ保管施設の温度管理等の実施	あり
	生ゴミ保管施設の密閉性の確保	あり

イ 廃棄物等の運搬や処理について

十分な搬送頻度の確保	毎日搬送
繁忙期の特別な措置	搬出回数を増やす
運搬(予定)業者(免許番号)	未定
運搬業者・処理業者に対する情報提供	特になし
敷地内処理の配慮	すべて敷地外処理
廃棄物運搬・処理実施要綱等の制定	なし

ウ その他廃棄物関連対応策について

食品加工場等からの悪臭防止対策	該当なし
併設施設からの悪臭防止対策	密閉された廃棄物保管庫にて保管し、悪臭発生が予見されるエリアについては、定期的な清掃を行うよう周知します。

評価
○

(仮称)ピバモールー宮

(3) 街づくり等への配慮

街並みづくり等への配慮	外観・色彩等 環境美化活動	周辺の街並みづくりを違和感のない建物といたします。 ○ 従業員により定期的に店舗敷地の清掃を行う。
市町村等の公的計画への協力	協力要請があれば検討する。	
照明等の配慮	屋外照明は投光器タイプの照明器具を用い、駐車場に向け照射することにより、周辺への光の拡散を防ぎます。 広告塔照明は周辺環境に配慮し、必要以上の電飾を避けます。	
敷地内の緑地計画	緑地設置無し。	

評価
○

出店地連絡会議の意見概要	対応
1 来退店経路の周知徹底及び生活道路への侵入防止対策について、関係機関と十分協議し、必要な対策を実施すること。	1 来退店経路の周知徹底及び生活道路への侵入防止対策について、関係機関と協議し、必要な対策を実施します。
2 障害者等用駐車マスへの誘導等の場内及び店舗周辺における歩行者・自転車の安全対策を実施すること。	2 障害者等用駐車マスへの場内誘導において、駐車マス位置がわかりやすいよう工夫の上、案内いたします。また、繁忙時等における交通誘導員の配置や、出入口付近の視距確保等により、店舗周辺の歩行者・自転車の安全確保に努めます。
3 騒音対策について、開店後の状況に応じ、周辺の生活環境に配慮した対策を実施すること。	3 騒音対策について、開店後の状況に応じ、周辺の生活環境に配慮した対策を実施し、ご意見等を頂いた場合は原因追及含め、対応いたします。
4 関係法令等に基づく事前協議又は届出等について関係機関と協議し、必要な手続きを行うこと。	4 関係法令等に基づく事前協議又は届出等について関係機関と協議し、必要な手続きを行います。

市町村の意見概要	対応
意見なし	

住民等の意見の概要	対応
意見なし	

県の意見案
意見なし

県の意見に至る考え方
指針配慮事項に対する設置者の対応及び出店地連絡会議の意見に対する設置者の対応は概ね妥当であると考えられる。